

る。  
④議員それぞれの考えもあると思うので、執行部としての答弁は控える。

再質問

議会、市長部局、市民が協働の精神を持つてずっと取り組んできたことに感謝と敬意を表し、その姿勢を継続するようお願いする。

〈その他の質問〉

○震災後の傷んだ生活道路の

迫り来る災害に対する当市の防災、減災対策について

質問

東日本大震災から早くも1年3ヶ月が経過し、今後茨城県沖地震、南関東首都直下型地震など高い確率で発生が予想されている。そこで、防災、減災の基本である自助、共助、公助に対する取り組みについて問う。まず、自助について、災害が発生した場合、自分の命は自分で守る、これが大原則であり、地震が起きた場合のことを常にシミュレーションすることが大切である。備品の準備がどうなっているかなど行政がしっかりと市民に徹底していかなければならぬと思う。次に、共助について、子供や

復旧について  
○教育現場の問題について



中島 亨一議員

お年寄り、体の不自由な方などを避難させる際、地域のコミュニティが最大の救援隊であるが、常総市においてもこのコミュニティが壊れかけているところがある。行政は地域との連携を強め、いざというときの体制づくり、自主防災組織を作るための指導を行っていただきたい。次に、公助について、災害が発生した場合、市職員等も被災者となるため、いかに体制を整えるかが重要で、ライフラインをどう確保するか、大震災を通して改善策が作成されていると思うので何う。また、防災無線の配備はどのようになっているか。

そして、緊急避難場所の整備状況について、場所の周知、耐震、免震対策、備品等はどうなっているか。

答弁(市民生活部長)

自助、共助、公助が三位一体となり、初めて地域としての防災力が最大限に発揮できるものと考えます。市民目線での防災を念頭に置きながら、安全、安心なまちづくりに取り組んでいく。本年度は防災備蓄倉庫の設置、防災行政無線の実施設計を行う。避難場所の整備については、地域防災計画の見直しの中で再調査を行い、反映させていきたい。

再質問

防災無線について、室内にいる寝たきりの方などへの対応に留意してもらいたい。緊急避難場所について

財政健全化法と常総市の健全な財政の推移について

質問

常総市の財政に関し、夕張市の問題が取りざたされている。夕張市が財政破綻した当時の公債費総額は約500億、常総市も今現在400億台という大きな数字であるが、夕張市とは財政規模も人口規模も全く違

は、天井など非構造物の耐震をしっかりと行っていたきたい。

〈その他の質問〉

○市街地にぎわい再生事業について

○常総市の財政事情について  
○高齢者に対する肺炎球菌ワクチン接種の助成について  
○ごみ収集について



諏訪町自主防災組織の訓練の様子

中村 安雄議員

い、それを一緒にして比較しては誤解を招く。議員は予算書等で確認しているが、知らない人が聞くと、夕張市と同じに考えてしまう場合がある。起債の割合にしても下のほうだし、財政力も、44市町村中16番目から18番目を推移している。

平成30年までの見通しを見ても、市民の皆さんに心配いただくほど常総市の財政状況は悪くない。夕張市を前に掲げて、大変危険な常総市だということからは全くない。ただ、これから長い期間の中で人口が減少すると、負担率が大きくなってくるのは間違いなく、行政は健全財政を保つように努力していかねばならないと思う。

①財政健全化法が制定され、健全化の報告が義務付けられている。当市の健全化判断比率について問う。  
②財政破綻の北海道夕張市をあげて当市の財政批判をしているが、人口規模財政の違う健全率は比較にならないことを証明しなければ市民に不安と不信感を与える。行政としての報告をすべきと思うがどうか。

答弁(企画部長)

①当市の実質公債比率は12・0%で県内21番目、将来の負担比率は99・4%で県内16番目となっている。  
②当市の財政状況は夕張市とはかけ離れており、比較対象とする団体ではないと理解している。財政事情の公表は広報等で年2回実施しているが、今後はさら